

資料 1

鈴木春信「六玉川」二種（メトロポリタン美術館蔵、個人蔵）
いずれも、明和四（二七六七）年頃制作。中判錦絵（27×20cm前後）。

① 高野の玉川

弘法大師

わすれても

汲くみやしつらむ

旅人の

たかののとおく乃

玉川の水

紀伊國名所

鈴木春信画

② 井手の玉川 俊成

駒こまとめて

猶なほ水かわん

山吹の

はな乃露そふ

井手乃玉川

山城名所

（無款）

③ 調布の玉川 定家

たつくりや

さらす

垣根の

朝露を

津らぬきとめぬ奴

玉川の里 武蔵名所

（無款）

④ 擣衣とういの玉川 相模

松風の

音たに

秋は

淋しきに

衣うつなり

玉川のさと

攝津名所

鈴木春信画

(画面左、壁に細判紅摺木版二点。「貴人杜鵑と半月の空を仰ぐ図」「播磨屋新七」印。

「舟人橋下を通るの図」は「松村」弥兵衛の版元印。)

⑤ 萩の玉川 俊頼

あすも

こむ

野路の玉川

萩こへて

色なる浪に

月やどりけり 近江名所

(無款)

⑥ 千鳥の玉川 能因法師

陸奥名所

夕されハぼ

汐風こして

ミちのく乃

野田の

たま川

ちとり鳴なり

(無款)